

こま犬巡り

「たて髪がえらのように張り出した顔は、松本のこま犬の特徴」。神社などにあるこま犬に焦点をあて市街地を巡るガイドツアーが3月、松本であった。題して「こま犬入門 松本型こま犬ってなに!? 城下町に棲むこま犬たちと出逢うツアー」だ。



古とされる江戸中期のこま犬がいて、解説を聞きながら興味をくすぐられた。

コースや目的地ありきの既存のツアーではなく、ガイド役の個性を際立たせ、新しい街歩き体験を楽しんでもらう観光ガイド「ココブラ」で、4月に本格始動した。自称こま犬研究家と

して全国各地を探訪する安曇野市の高松伸幸さん(50)が案内人となり、各神社にあるこま犬の特徴や、こま犬のルーツ、造形の変遷などを熱く語った。例えば、大手1の今町巨理神社には、市内に現存するものでは最も古とされる江戸中期のこま犬がいて、解説を聞きながら興味をくすぐられた。

(隆)